

「かんきょう」パンフレット

第84号 (社内環境情報紙)

2013年3月13日

青柳工業株式会社 環境会議 事務局

環境目標の現状について

2013年の環境目標も、3月を残すだけとなりました。五つの環境目標のうち、ペットボトルの廃キャップを回収する活動、OA用紙を回収する活動、コピー用紙を節約する活動、このパンフレットを発行して皆さんに読んでいただく活動は、何とか達成の見通しがたっています。しかし、電気使用量は、2月28日現在で、達成率99%と達成できるかどうか微妙なところで推移しています。右のグラフのように、目標値(棒グラフで示した部分)と実績値(折線グラフの部分)が重なりあった状態で動いています。皆さんの心がけで、何とか達成できる範囲にあります。身の回りにある、電気製品の節電等、もう一度ご確認をお願いします。



電気使用量の推移グラフ

紙資源の分別

新聞紙や雑誌等の分別についてご質問いただきました。新聞紙は丸まった状態でも問題ありませんが、新聞紙だけで分別をお願いします。水戸市では、新聞紙と広告等の紙は分類するよう指導されていますので混ぜないようお願いします。広告類や雑誌等は雑紙といった分類になります。ただし、プラスチックやパラフィン紙、感熱紙等(レシートなど)が一部使われているものは、そのままではリサイクル出来ませんので、その部分を取り除いてリサイクルをお願いします。製品が包んである茶色の包装紙は、分類上ダンボールと同じ扱いになり、お菓子の箱や部品の包装箱もダンボールと同じ扱いですが、出来るだけセロハンテープやガムテープ、ステープル金具などを取り除いて分別していただけるようご協力をお願いします。



雑誌・広告は同じ分類です



リサイクル対象の紙類

水戸市の環境保全活動

水戸市には「水戸市環境基本計画」という、環境を総合的に保全するための様々な政策が規定されています。平成14年に制定されましたが、10年ぶりに改訂する作業が進められています。また、常澄地区や内原地区との合併により、環境を保全しなければならない地域が各段に増えています。一番の心配は、常澄地区の森田町や内原地区の有賀などで、工場用地内に企業の廃棄物置場などが造成されています。この地区は、小川にはホタルや、カワセミ等が生息する、豊かな自然が育まれている地域ですが、乱開発のつけが回らないよう見つめて行かなければなりません。



環境コラム 「花粉症は環境悪化が原因？」

最近、花粉症で悩んでいる人がたくさんいるようです。ある統計によると、日本人の3人に1人は花粉症を発症しているとのデータがあるそうです。今年は、杉の花粉量が多く、大量飛散が予想され、健康への影響が懸念されています。個人差があるようですが、一定量の花粉を吸い込むと、どんな人でも花粉症になる可能性があるようで、その発症に至る経緯は、まだ完全には解明されていません。花粉症の人でもそうでない人も、応分の対応が必要です。「杉花粉が原因と分かっているならば、杉を切ってしまえ」と言った過激な意見もあります。確かに生物は、森などがあって、自身の存続が危うくなると、花粉の量が多くなる事は、既に立証されています。一方では、大気中の硫酸化合物などと化合して、花粉症が発症するといった話も出ています。国では、花粉量が少ない種類の杉を積極的に植林する方向で検討しているようですが、すべての杉の木が植え変えられるまでには、まだまだ時間がかかるようで、それまでは個人毎の対応が不可欠なようです。